

中央公園整備事業 公募設置管理制度

まなびや

M A N A B I Y A





①樹あそびエリア：

樹の上を渡って歩くツリートレッキングやジップラインのコース、ツリーハウスを設置して、樹木とふれ合い遊べるエリアをつくります。



②水路の活用：

水路の安全性を確保した上で、水生昆虫の生育環境を整えてホタルの光が灯る公園にします。



③キャンプひろば：

ドングリの森の中に家族でキャンプの楽しさを味わえる場所をつくります。当面はデイキャンプとしますが、将来は泊まれる公園を目指します。



④バーベキューひろば：

ドングリの森で、他の公園では出来ないバーベキューが出来るエリアをつくります。

⑤野外コンサートひろば：

広場がステージで使えるように装置を仕込み、周囲に観客スペースを確保して音楽イベントができるひろばをつくります。



⑥大芝生ひろば：

周りを様々な施設や林や丘に囲まれて気持ちよく過ごせる緩やかな起伏の大きな草のひろばをつくります。

⑦シンボルツリー：

既存の大きなヤナギを公園のシンボルとして大事にします。

⑧車止め：

通常はここで車輛通行止めになります。



市街化調整区域 ← 市街化区域

⑨冒険サイクルコース

建設工事で出る残土で山をつくり、コースを設定して自転車で走り回れるゾーンにします。



⑩サイクルスポーツひろば

自転車利用者用の便益ひろばをつくります。

⑪ちびっこ自転車ひろば：

幼児の自転車デビューや子どもが自転車の練習ができる土の広場です。



⑫新ドングリの森：

既存の「ドングリの森」の樹木を移植して公園全体を豊かなドングリの森にします。



⑬スケートボードひろば：

スケートボードコートその他、ボウリングやダンスの練習が出来る壁を設けます。



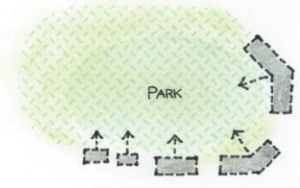
— 計画策定範囲
— 工事可能範囲

中央公園計画範囲の建築物デザインガイドライン

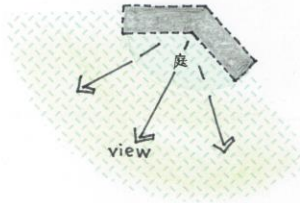


建物の配置の考え方

中央公園の外周部に建物を配置し、建物がみんな公園の内側にむかってひらくような計画としています。



この公園全体が庭であり眺望をたのしむとともに建物の内部に自然を取込むような計画とします。



建物デザインについて

「家」のイメージで切妻屋根をベースとし、屋根のかたち・勾配はできるだけ統一感を持たせた計画とします。



建物の色・素材は自然に馴染むものを選定することで、中央公園に建つ一連の建物が公園の風景に馴染み、溶け込んでいくことをイメージしています。

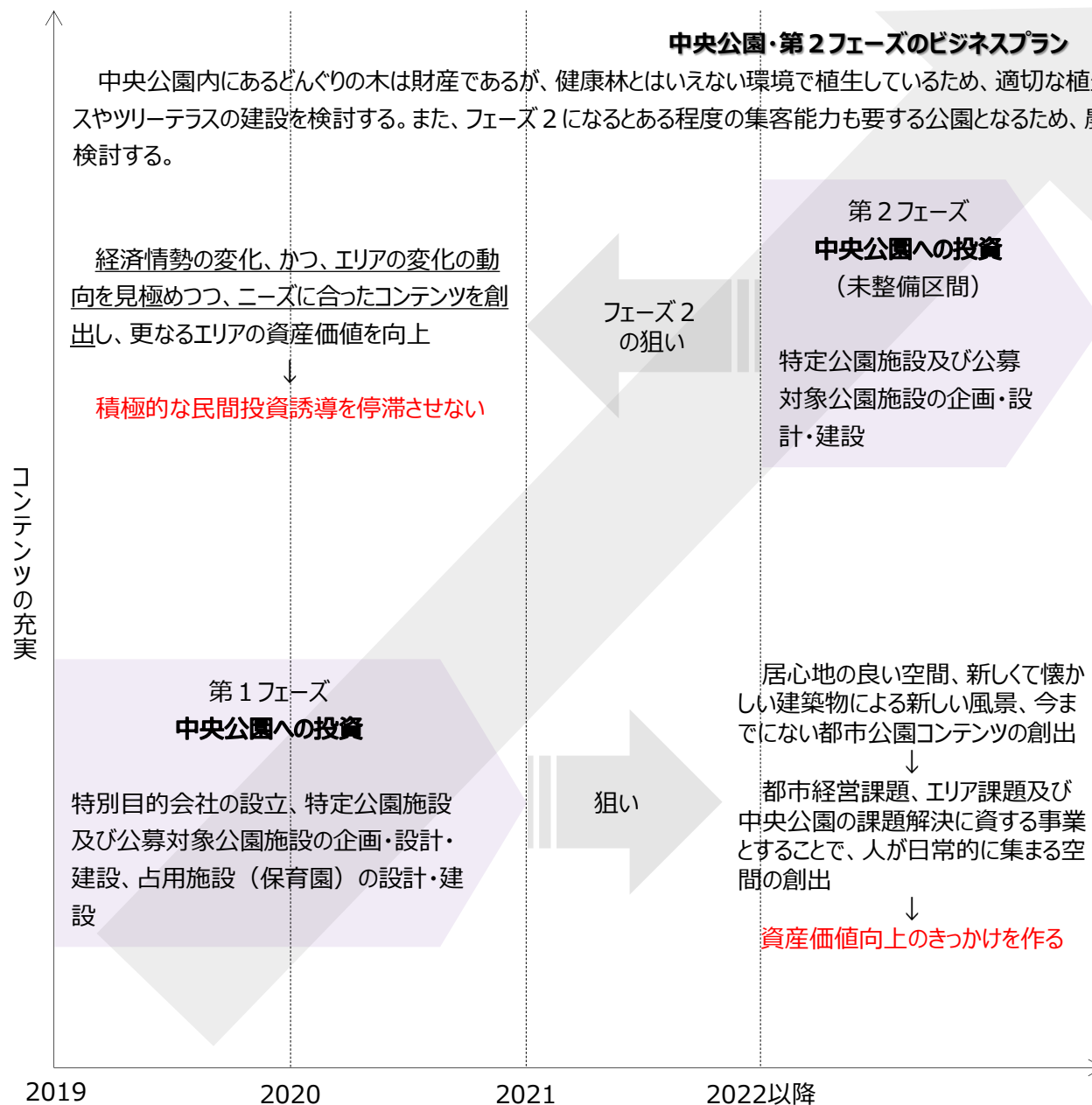
建物と公園の間に設けている回廊や軒下空間などの半屋外空間は、室内と屋外をつなぐ中間領域であり、建物と建物をつなぐ共有スペースでもあります。軒を深くすることで居心地のよい軒下空間をつくりだし、暑い夏には日陰のスペースになり、雨の日は軒下で雨宿りをすることができます。

事業に織り込む課題

単に都市公園や収益施設を整備し、運営するだけでなく、市民の貴重な財産である中央公園の持つ経営資源を活用し、盛岡市が抱える都市経営課題等を織り込む事業とすることで、**何のために何を行うのか**を明確にする。

中央公園の教養施設が集積する特徴等を踏まえながら、事業に織り込む課題を次のとおり設定し、中央公園に新たな価値を創出する。







①樹あそびエリア:

樹の上を渡って歩くツリートレッキングやジップラインのコース、ツリーハウスを設置して、樹木とふれ合い遊べるエリアをつくります。



②水路の活用:

水路の安全性を確保した上で、水生昆虫の生育環境を整えてホテルの光が灯る公園にします。



③キャンプひろば:

ドングリの森の中に家族でキャンプの楽しさを味わえる場所をつくります。当面はデイキャンプとしますが、将来は泊まれる公園を目指します。



④バーベキューひろば:

ドングリの森で、他の公園では出来ないバーベキューが出来るエリアをつくります。

⑤野外コンサートひろば:

広場がステージで使えるように装置を仕込み、周囲に観客スペースを確保して音楽イベントができるひろばをつくります。



⑥大芝生ひろば:

周りを様々な施設や林や丘に囲まれて気持ちよく過ごせる緩やかな起伏の大きな草のひろばをつくります。

フェーズ1

【特定公園施設】

・大芝生ひろば

【公募対象公園施設】

- ・フリースクール
- ・シェアオフィス
- ・飲食店
- ・てつびんの学校 (教養施設)
- ・手紡ぎ手織りの学校 (教養施設)

【占用物件】

・保育園

フェーズ2以降

【特定公園施設】

- ・スケボーパーク
- ・自然サイクルコース
- ・キャンプひろば
- ・バーベキューひろば
- ・屋外コンサートひろば
- ・大芝生ひろば

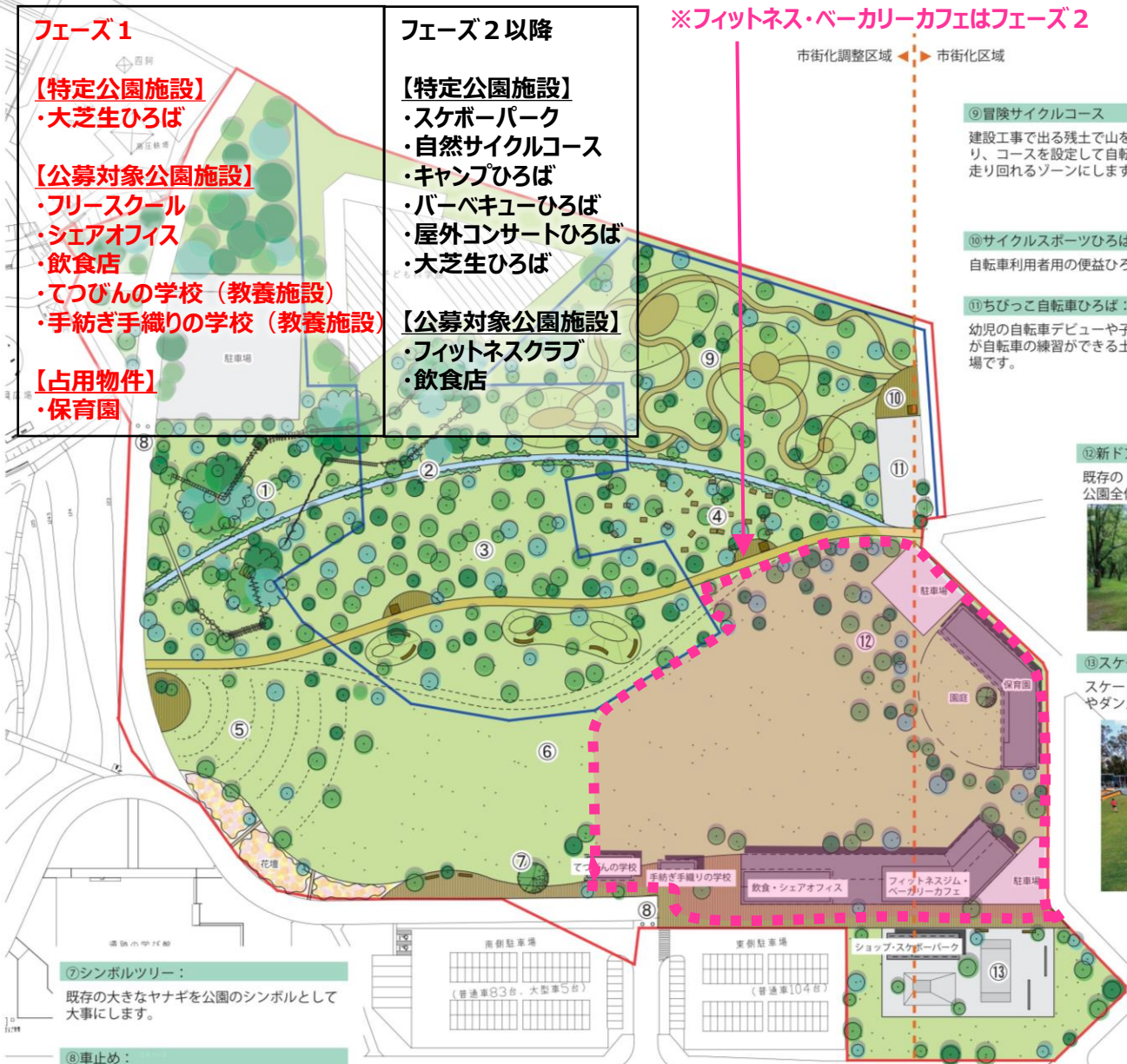
【公募対象公園施設】

- ・フィットネスクラブ
- ・飲食店

フェーズ1で整備する範囲

※フィットネス・バーカリーカフェはフェーズ2

市街化調整区域 ◀▶ 市街化区域



⑩冒険サイクルコース

建設工事で出る残土で山をつくり、コースを設定して自転車で走り回れるゾーンにします。



⑪サイクルスポーツひろば

自転車利用者用の便益ひろばをつくります。

⑫ちびっこ自転車ひろば:

幼児の自転車デビューや子どもが自転車の練習ができる土の広場です。



⑬新ドングリの森:

既存の「ドングリの森」の樹木を移植して公園全体を豊かなドングリの森にします。



⑭スケートボードひろば:

スケートボードコートその他、ボウリングやダンスの練習が出来る壁を設けます。

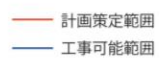


⑦シンボルツリー:

既存の大きなヤナギを公園のシンボルとして大事にします。

⑧車止め:

通常はここで車輛通行止めになります。





「答え」を自ら見つける子どもを育てる
 まなびやプロジェクトで子ども達に様々な職業体験を提供する。



「答え」を見つけるために社会とつながる
 まなびやプロジェクトで、様々な大人と連携することで社会との接点を作る。



情熱や自律性を育む
 やりたいことをやることで身につけた情熱や自律性、「答え」を見つける力は全く予測ができないこれからの社会では不可欠なものになる。



子どもたちと起業
 まなびやプロジェクトで育った子ども達と都市経営課題解決につながる会社を起業し、都市経営課題解決につながるビジネス（ソーシャルインパクト）を展開する。